

21. 「オムツ外しについて」

2008年9月1日 社会福祉法人 江刺保育園

一般的にオムツは早い子で3歳前半くらい、遅い子だと4歳くらいで外れるようです。そして、ほとんどのお母さんたちは、はじめての子どもを持った時、オムツ外しをどのようにしたらいいのか悩まれるようです。オムツ外しについては1, 2歳児のクラスでは毎回話題になります。**オムツ外しの基本は、ほめることとタイミング**です。

オムツをしている0~1歳のころから、おしっこやウンチでオムツ交換をするとき、「オシッコが出ているよ、良かったね。お母さんは嬉しいよ。」また、ウンチを出して泣いている時「ウンチが出たの。ウンチを出して偉いね。教えてくれてお母さんは嬉しいよ。」というような声掛けしながらオムツを取り替えるのです。そして、2歳過ぎくらいになり、オシッコやウンチがオムツに出て、子どもが「出た!」と教えてくれたとき、同じように「出たの、教えてくれて偉いね。お母さん嬉しい。」とほめるのです。そして3歳くらいになり、オマルやトイレに行ったとき、同じように「すごいね、お母さんととても嬉しい。」と言ってあげるのである。その時々で喜び、ほめることが大切です。そして3歳後半または4歳になり、昼にオムツをはずしても、大丈夫になると思います。しかし、小さい時から厳しくしてきてしまったというお母さんがいましたら、今からでも遅くありません。オシッコやウンチが出たことを喜び、しっかりほめてあげましょう。個人差がありますので、他の子が2歳でオムツの必要がなくなったとしても、**あせらない**ことです。また、けっして失敗を叱らないことです。オムツ外しは、**最初から最後までほめることが基本**なのです。



オシッコすること、ウンチをすることは、良いことであることを子供たちに教えるのです。失敗をしたことを頻繁に叱っていると、オシッコやウンチをすることは、いけないことであると子供たちは思ってしまい、かえってオムツがなかなか外せなくなってしまうこともあります。また、オムツから普通のパンツになるとき、オネショのことが心配されます。これはお母さんの、思い切りが必要です。でも、うまくいかなかったら、無理せず、昼だけパンツで夜はオムツで様子を見ることも大切です。

親が子供にオムツ外しについてプレッシャーを与えるのでなく、子どもの状況をしっかり観察しながら、そのちょうど良い時を見つけることだと思います。オムツを何としても外さなければと、親が思わないことです。気持ちを楽に持って楽観的に対応する方が良いのです。オネショについてはまた別の機会に取り上げたいと思います。

【まんまもち】

材料(5人分)

ごはん 350g
強力粉 大さじ3
長ネギ 少々(みじん切り)
しょうゆ 大さじ1.5

作り方

ごはんを荒つぶしにして、残りの材料と混ぜ合わせる小判形にして、オーブンで焼き色がつくまで焼く。

残ったご飯で、簡単にできます。
是非、チャレンジしてください。

